

東日本大震災関連のお知らせ

義援金報告 ～皆様からの温かいご支援ありがとうございます～

一宮市共同募金委員会で受け付けております、東日本大震災義援金について、皆様からの温かいご協力をいただきました。また、義援金箱・個人・会社・小中学校の児童会等の皆様からも、多くの義援金が集まりました。皆様からのご支援に感謝し、紙面をもって心よりお礼申し上げます。

お預かりいたしました義援金についてご報告いたします。

3,595,906円 H23.3/14～7/31

皆様からお預かりした義援金は、社会福祉法人 中央共同募金会に送金いたしました。用途については、関係機関で構成された「義援金配分委員会」により被災者に配分されます。

被災地の一日も早い復旧・復興を願うとともに、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

一宮市共同募金委員会

被災地でのボランティア活動報告

東日本大震災で被災された地域の復旧・復興に役立ちたいと願う有志が集まり、平成23年7月、8月、9月の3回に渡り、宮城県七ヶ浜町に災害支援ボランティアに赴きました。

一宮防災ボランティアネットワークの主催、志援いちのみや「ずっと」の運営、一宮市と一宮市社会福祉協議会のご協力ですすめていき、幅広い世代が参加。ご縁がある名古屋市のNPO法人の現地拠点を利用して、ボランティア活動に励みました。

義援金や救援物資を送るなど、支援の方法はいろいろありますが、被災地での支援活動も大切です。

大震災が起こってから、もしかしたらこの危機は夢ではないかと思いましたが、実際に被災地に足を踏み入れて、目前にその惨劇があらわれると、大変なことが起こっている現実には胸が塞がります。

被災地の海辺に程近いところは、住居の土台だけがいくつも並ぶ異様な光景がひろがり、田畑だったと思われる場所には、家の残骸や原形を留めない車が流れ着いて置き去りのままにされています。時間が止まっているような錯覚に陥ります。

七ヶ浜町のボランティアセンターからのご要望は、仮設住宅や集会所での応対、住宅跡地の整理、住宅の外壁の洗浄、救援物資の仕分けなどがあり、私たちは住宅街の側溝の泥かき、海辺の松林の清掃の役割を主に受けました。限られた時間の中でのボランティア活動は、一歩いっしょ前に進んでいくことであり、復旧・復興にとっても長い時間が必要と痛感しました。ひとりのできる支援は、少ないかもしれませんが、けれど、たくさんのチカラが集まれば、大きな原動力になります。

連日、テレビや新聞でみる被災地を、随分遠い地と見ていましたが、ココロの距離が一気に近くなったと感じます。

被災された皆様は、とても元気で、「おはよう」「ありがとう」と声を掛けていただいた姿をうれしく振り返ります。

私たちは、これからも被災地支援を続けていきたいです。一宮市の更なる発展にもきっとつながると思います。



草田克己